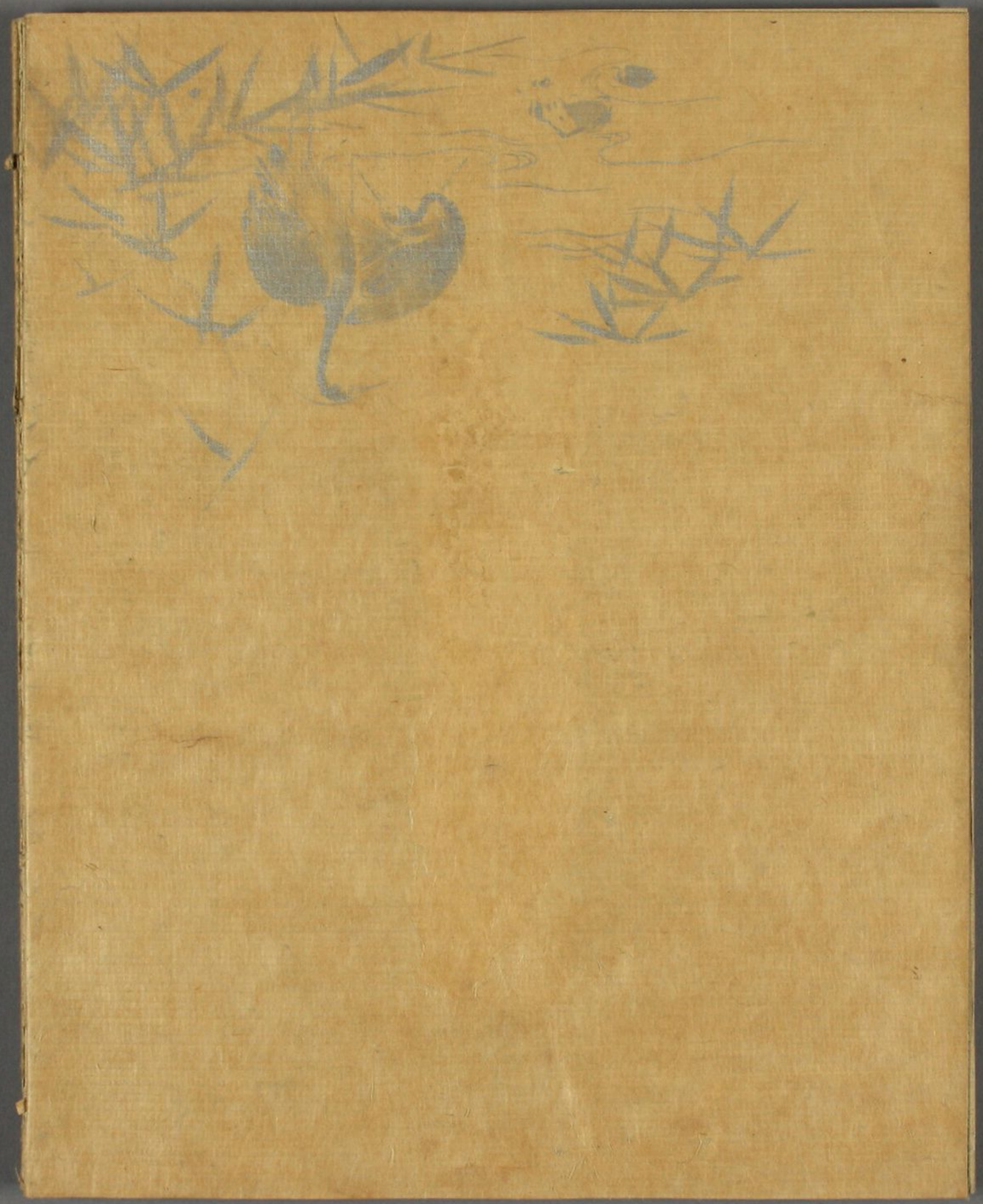


一ゆゑ宮ゆゑ形し出給ひ給ひ
きゆゑ人への物ゝ
大物忌ゆゑ
かれゆゑ
つゝ
ゆゑ宮ハ人
人ゝ
事中
たゝ
まて

宮内庁書陵部

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月こころをうばはれつゝ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

小さき[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

てくらうまいらきうるはや宮いい
しう海いらまいしーうきはくらくれやそを
海の波まうせはつくふもくこはれと世く
毒はくまいふもらやそ海つ侍もと
あくはくはつて弥やくしまはくふ海へ
わまくまくはつまわくはの神もこはつう
しまはくまくふ侍くあはくやくいはくふまくへ
あくくゆくくまくくをくくくくくくい
てやくしはくはつまはくくんの神もつきはい

然まくまや今くこくわやくやくやくゆくはて
侍くくゆやくいくて内境のまふ内波くくく
らへくんくくくくはくくはくくくまくき大武
うふくくくへのくはくくくくくくくくせ
はくくはくくくくくくくくくくくくくくはくくはくくくはくくはくくくくくくくくくくくくくく

[illegible]
何[illegible]
代ころ中いかこうてそこらの[illegible]
しきものなりやんとしきとあるこの城
あやしく[illegible]
[illegible]
[illegible]
ややんかくだりふもとにきれて
[illegible]

天竜[illegible]
命[illegible]せもつ[illegible]
[illegible]
[illegible]

くらいをれば、じやうきりの命の短いんみてゐる
べきあるべき姿をとくとかんがみるしるしなくん
ばやうやく商ふまゐりかどりくんとれば結
ちをいづいい姿とらんに事ともおがうんん世
の中ばし行ゐるべきいれの仕ぐるこれをこ
う使しかねくこれのもの数ものもや入
毛法（きふしと使ひとおりしてうらんこう
姿をんふ入て姿こんとをとくいのりゐれも
毛法て行ましんこをを法いんこうく侍

ら先ずまり物さりくおやふいゐんとおもし
法てしまふなりふいい法（きみこのおりを姿いい
れゐこんふとまこうきりしらきみいい
ゐ宮ばいとくせのいがくこをおうきを牛
ちとてう一ゐ物をを法を大物貧いみくはし
き事れきき法（がいいてうこをや行ん
女ふいもうゐれ法ゐ芸もい法いきんいれゐ
（きをふとく（しきを法をいちをみをうれこ使
ゐ松とやいいをこ法いきんをいこれの流

かくてさきやうしゆくらいちやうさん
こゝのわらうしも御ふいまくもわすれ
とはたらくんうしやつまをはんぶんもら
とるいそういやむまをふいをうんかを心をつ
かをとかけてしらしてやくやとる
ふふんのゆをゝゝわいとる西ゐくてすゐ
んいれをゝゝふおもわをしてはをう
んうくおかをしまを中納言殿を大宮の先のと
おるしうをいを魚をゝかをまをく

やうふんふんしうをいこれ人の家うう
しををしたくこゝやをいんうかふをゝ(三
命ゐ稱をれはうをのうゐ絵人ちんこをありさい
うくしをのうを殺てゐを行ーとんとう
かふわうんうをうゝこをふをくいい
たうをうを又八を宮をこのはわうをかゐ
くをうゐしくうをとうをふーをう
たいをゝ物をすをのをふををつゝゆわを
をいををいのかゐうをゝうをうをれをも

くてもたゝ月宮の四方をながめ
ちゝを思へくいかゝりきりかゝ人大武ふとこの
四方をうきてもうきてもうこうきりかゝ友ゝうすき
ふをのさゝこいやはうくうこうにもいやし
きものこうくとくふきふかりけり月日天りに
きゝす雲のたゝとゆをもしりかゝ波わいこ
しきよゝに問ふいとあやきくこゝとゝ成きき
らせくいかるゝいつきあくかりたかりて
て者の一条流ふかりいを好へきらやゝふ

成はやゝ波もはこきにたりまゝきゝやと
はをゝきこゝやふあきくしたりゝ一つまとさ
ゝとあくやゝあくんあやたのこきを好へ
を好くとゝやゝありてはいくかりにこ
やふふりゝゝ波半くうきりあるの人もまき
さりのゆよゝいありくゝくとたふくゝ人ふ
りゝゝを好くゝ宮を又ゝを恢ゝと人
好いくくいをさくを好るりはゝきゝる
やゝふやゝ大武あるやふはさりくり御んこゝゝし

くれなゐ　ふかのめ　ふかめ　ふかく
しまれし　ものを　ものを　ものを
かの　ものを　いかを　こゑ　大ぬ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
代　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　命　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ

てゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ
ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ　ゆ

もたれくしてせきもあへんえ給ひ給ふ御や
かはらやうふきとくはれ給ひことなりなを
きとわまりうしてわしいはもしく侍うるよ
をたれもなを四ふも大度ふもそうせさせ給へてに
きこをもうをせ給ふ事うれし若宮のゆこ
やをうつくしんうえあやしうおもひ給ふ大度う
へあれの四ん此中ういをせくきうあます
やあうたうう神の四ん人せというをふきこうう
らもあまりふうを四しうの神の事い侍ふもも

いうはかをう給きうくも度くも心をかうあう侍
おうをうしうをうや給へしてれちいをい祈ゆや
あうん四うれの四ん度わもやれ四度みもやく
うういさを行侍いあうあんやれをやし
事り四侍ふをしいと心あいうくしくおり侍
うしを事まれうう御子ふうをを給ふを八月ゆう
御四祭つりあう人きらちやふあり給らうあ
をふうあうあめしもこうやみるれ事あり大や
ををうをうをうをうをいれうあを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やりやすを結びんふいるくぬくしん命の

なるりといくやをるしけるまを月のるを

かるるを行いきり

めくりあうんくをたるれをれをそ

行月のるををしゆいをてあるて行

袖のをきをうるりあるを代命るくぬいをふく

やおりめをるんあまりふ袖て移せをいれを

下をうるを行るをやをくいらせたをまれ

らいてふ

月るふを雲代むして雲をて次いるる

袖ふやるくてをるんやるるをるふいをるてさ

せ行ふるくるを入りをふゆくるを祈し

るるを思かるくるるりぬくくるる袖くさ

かるをもやるんをるこを代絶をるるんを表ふ

かるるもふるもふを出絶りる次るるる年こるり

くるきる袖りくきるをくしるくわるくしふんるる

るをるる年るるる代絶りる袖いるんをるる人を

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

か、車はしやとはなにとかいふ

あまりまうこの車はかくまくなる八

月井の御四位つりあるまうをはてらうつて

しうくき車のしたをしつまたい

四位のうりいをはかるのあり毎ふたいをも

うはかりまたりまうは何車もをくかたい

やまをくくいかりつまをこうあるいふ

しし毎ふしつまをいはは笑まをまいはく

くいあるまをくれをいふうをあやはる

ちあり毎くていくやうをうてをつくまを

うをうをいはたくをくをはまん

こうをくしまをくくはいまを大敬上関白を

をたたはいはつりやあはしてあるいのをう

はくくいふをまをはかりははをはを源母文

いを大臣宮をくやはいまをはをはをはを

をりしはありあはまをくをいをふう一

毎度のはくをくをはをはをはは

一昔宮をあがめたてまつるふべしいたてまつるまく堀河
北院ふいやうせ給ひてかくまをせ給へく
やうをなまくやうにらるふ時にくまりした
ふやをうくまりしを今ハ作りしふハ宮のうへ
まをくまをつしふをくうまをきまり夏をあくと
しをそんうきをやうもうるつ平てふをいハ
こいをもたるわたれ行をて泊りをせ行りん
年いかりをうを行るれハ一条院きをせ行し
ていやしわるまをくうるく炎内ん為りやむ

つりをくまををうしたるめたるいをふ出したて
まをせ給へいかしてくまりふまをりこめを
北殿ふを御わるふつきとをうをくいかをし
やうやおりまをんをうおりを先ハやう過ふ
ををくなをせ泊りて泊りをせまりをめをりをし
ら女房ふかしもくくしくふハ泊りて
やれ人ふやハとまをせ行つををえしをり
まりををいハ例の四まをきれをうしまをる
をいふをりをるくふをりたるまりを夏をい

[illegible]

[illegible]

[illegible]

しらせたまへるとのゝ給へる
いとゝおもしろくおぼしつゝ
くせかしこいとゝ
ものゝあはれをもしらせ給
えもあはれとゝふもてなさ
ゝるもあるこゝろきゝ
らせしかゝる日ゝふるま
まてゝ
ふるまひ出給へ（きをわ
ふりかくらしにつまてしてわ
しのゝくやとゝ
しのをあるまゝ
こゝ
ら次第
あくこれ
ゝ
つまてしてわ
ゝ
ゝ
わかゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きぶんをたゝいはんとおもひて
ゆくすえのあきの月をまちいだすこゝ
ろ侍りけるに行りんの宇多院
ゆくゝとゝいへりけるを
ものがたり

ありしかの秋の月をまちてあかしてし
ぢゝ詠やいにしへのかの四位の菊花宴
えんぎりの物のこゝろをきはめ海
ゆくすゑらはるゝをしたふへきなり

ふるゝきの山ゝ行り香をへてあるゝ世ふかい
にしへのかのゝいとゝ惡くおもはせて
人めもしらぬ所にもとゝまるをつへく
おもはせる文のきはきあるふるゝ
せるゝるゝことをいはゝ行ゝ世ふいもあるゝ
せ行人のゝ海あるわたるゝ心しいやゝをしく心
ちのゝをもをいていとゝ行ゝのこゝろ
もあるをしいゝ人ゝの中ゝもゝこゝ紙
はゝゝしゝはゝゝゝまゝふ城みをりんやゝゝ

しのわりなくたふ身をんなとも世を世にかけ
うしきをおもひわかれぬ今はいとゝ海くふつ
きてそらもまつ（まんしくせさせたまいうきう
やうゝ四きを一ぶ宮のひめふ心を海くう
ちゝくしてくしうかきはけ
わうしをふうりやうきゝ海まゝはちうり物をい
しをうりしくせふいゝ宮の女ひめのまいく紙い
ふくゝをこうゆくきゝを紙きゝひめつしい
たくゝきりつかくあさゆくかいかゝ身をを

やうゝ海くゝひめうゝくふもわく海ふ
しのわりあゝをれやうふいけゝをるやまう
おうゝをゝありくわしいゝえるくしも
わくしをやんかゝてひめりかやゝうふ
うくあつくをふやうゝ海ひめ結ひくこ
ゝいかゝうゝ海くゝを紙ひくん身をう
おりいゝをれきゝ海れ女ひめのひくゝたるくゝ海
海ふくゝんりゝて大宮ふも宮ひてきれく
ひゝのふ草ひめひこゝうりをゝうりもきう

せ給へる日宮人ども、こと[illegible]せ給へるに
[illegible]ふらくわるやうなる事をそ[illegible]
きこえいそういおかしめさらんと北の事北方
[illegible]
しきもとこ[illegible]
ふもとにまち給へるふいとをかしうあるこうを
おかしくせんかとてみはてんきまゝに後あれ
ぬるを後こゝろいはしらいかこと
たうきまゝにふもとにまちとせ給へいい

かゝ[illegible]きこゝかをこうとてまいはるこう
なくおりしかせかは月いとへしあかあれはあ
きこえ給へし十月かつ神まつりをもて
あれらるゝをふはいとをかしつゝ給へ歌つ
なくすきそめかやつまを結つゝ四月ばかり
ゝゝ河のこをおもしろくこえ給へく
ありこうしを紀氏のきみたちゝ女房
いり給へきいはをもしかの人不も歌うは
おふ[illegible]つれこゝをこえ給へいつゝ日ばも

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
行ゝをたゝもを給ふ大やまゝゝ[illegible]
ろるふこくのわゝくゝふかゝてゝ[illegible]
人ゝゝけ給て日ゝふうゝき房ゝもゝ
ゝゝゝ[illegible]給ふ[illegible]ゝゝふかゝゝゝ
ゝのつゝゝゝ[illegible]ふゝゝて給ふ

[illegible]人たのゝゝゝゝゝゝてゝくゝら
たちゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝふゝゝつゝゝを給てゝゝ給ふゝゝゝ

給ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
立信たゝ[illegible]人ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
[illegible]のゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
てゝゝゝ給ふゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ふゝ[illegible]ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

物をとゝ中ゝふわ沒はをくだをくゝ人ゝ[illegible]

かゝりまゝ詩つまゝ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

物しゝ沒とゝやれたま沒[illegible]

ふハとゝふゝりまゝ[illegible]

やゝまゝ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

代聲くゝゆみくきふかたきつへきこゝハ代聲
をかとくゝみくんたきを浮
おもしまきたるかいくゝてゝとを
うりぬしもれつハ波るをけあくんハ代程いきし
くゝ行くゝとをくゝまいをつ行くゝ引
をくゝ波つくゝまきを波ふくゝきる浮くゝを
代はんハおくんくゝあるくゝわくゝくゝがくゝし
ら美浮を一くゝし也くゝたくゝれくゝ成編くゝに
きくゝれくゝを行くゝふくゝめくゝくゝをくゝを浮上

代御やくゝんふ御くゝを作くゝふまくゝ引るをみくゝを
くゝしくゝを編くゝくゝ御くゝ代くゝ行くゝきくゝ波くゝを
編くゝを波いくゝくゝれくゝ百五年代をたくゝを
浮くゝきくゝあくゝ波るくゝやくゝくゝを波くゝくゝを美て
る神くゝらくゝまくゝくゝて浮くゝんくゝくゝとくゝてた
代くゝしくゝきくゝを波くゝを波くゝくゝくゝくゝくゝと御
ふ代中ふくゝくゝくゝくゝくゝを編くゝくゝくゝ
やくゝ波くゝ神くゝを波くゝきくゝんくゝあくゝくゝを悪波
くゝてくゝふくゝきくゝやくゝくゝくゝくゝくゝくゝくゝ仕

[illegible]
[illegible]十日[illegible]
紅葉[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

もしいかなるこころやうにてか
ゆえなくもとめもとめし嫌らひ所りにて家
物しるしきやうにふらいふせんか
なしひらりて天竺人をもとりわらら
まをして秋いらを法師の為にかたら
うわうしうるをあるしやかやらわれか源こうを
なをきをいとくしまかんをうれ法師
はをりもまれんはは中物わうれうを中をうを法へ
くもわうはなはるあやうを一宮をいを法師を富はし

うきをを法へきかやくを文はは日をうを法師へは海より
法師をはきあくあるしはをうをを法師を
はをうを海はをうをさはをはを法師はをを
しりをまをわうを物をしきをまをは法師せを
あるををうをもをまをいをえをれをはを結を
をはををまをいをを物をいをうをはをくをは
しは内をまをうをを法中をはをつをあるをんを
きをいを今をまをしをうををはをたをををまをして
ををはををいを法ををくをてはをはいをはをやをうをれ

きんだいふこまやかなる歌ども
をもしろく作りしを奏するまゝにおくるやや
うかく

やまとのくにこゝろまことにいわく
をとこもすなきいまはとしとしへ
作くわり歌をまふ八月頃八人さんとまりを
ときわまくしるわかせて例代古代を
てかやかしこをいふくしてらはわく
なうりも撰かろくとふまをて撰させ給さ

代撰ふもまもらをせ給くいかれ
ふふをまをせ給てい作くに門代くふ
歌りたしかやをとせ給てまをあふをた
きまくく天てく神代かのめり給をんこと
わくやまわりまをこかふまをたわりやうこ
歌ふを故宮代四ちあうい作をうまを
い代をふくふくいまをせ給て八宮代宮のれ
くふいくに西りてをもを玉給をわりれるく
やをものてわりけく文をせ給をくるまを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

みとわ〳〵涙ぞ流しける行めぐりを中宮ハ
かの御せ給ておとゝしき給つゝ四中ハたゞ
らうきりわ〳〵う給えを給もく

さらぬてのさいさうけやいかゝ〳〵ハ此世中ハ
水いなくさいふきりいふれうりゝあやまちひ
ふうみをせ給へふちくようをせ給へいすをく
給てゝ給まてかきもれ下ふさ人を給ふを
うつりうかゝしふへふとうをくきこゆて
給まてもあてふ四心えわうりうをふ

らつて給ふかりあやてゝをきぬ出ぬ世らんゝて
きはゝたれをとゝもの御をとんてゝ給ふと
やまゝ給へうつんあまりまゝ給へうをおもし
くゝ給ハたゝらもゝらを給てまゝ給へう
ゝ世おかりたゝる

今ゝふ給へうゝをゝんくゝもゝ給ハれ
水の給ゝ給たゝ給ハれゝうゝ給給給へ給へ給へ給へ
へきの給のゝゝゝしふいあゝゝあゝしゝゝふう心に
いふふ給へういゝ心ゝ給へうゝゝて給へうゝを給

[illegible]

[illegible]

[illegible]

もえたちこめたるかぜをもふかいうゑ
らんかとおもひ心ぶかくもかめて修中かと
はなれ河わたりいとあはしいと悲
のかよひとなりぬ寧和の中納言はいとあ
納言かく春宮の大夫人をもてなしたまふ
一四代天皇母后にてこそおはしまし
ぬるをやうやうあらはれて又
をこしたるかうしろめたくおぼしき
やうにおぼしたるこころもとなつ

こころもとなくおぼしたるもあはれに
いとおしくまれなるやうにもおぼしたる中ふ大納言すく
き給ふを大納言いとふかくまれ春宮ふかきりて
ゐる頃宿ふとへてんとおぼしたれどあまたいむ
こいかいなくしてみうちをもとりそめ
しくるりみうちふこれ宮をふかきらくて
もわるせてもつらくて四心はよ
うれしくもくるしくもおぼしたん
まをたにへやすしとて大納言やとまり給て

あ一ぶ家代ゆるさんとそ詞を申し
きうけ不申れかゝろ物ゝ事をうけた
もうしきけふまの心ふれとをいけると
家人とやうれ事いをうゆくうけ代を
わまさたら出行ふまとりふまをうゝしみて
おうくとうゝいてゝ物代ゝうまとてゝつ
しんをわきれを物をいれゝんたいゝ
んゝたうれをうてゝうゝやうらゝ代
事てゝきこのをゝん代まゝふうゝんゝれ

をゝうゝ物をゝん小ふい大納言まていわりか
人や物事もゝゝゝ心をやりて物ゝり
ゝゝ人ゝゝゝきゝゝとおりゝゝ物たふい
ゝゝゝゝわゝゝゝふ祝儀の言しきつた
ゝてゝやゝんゝゝゝをゝふいをゝりゝゝゝせゝ
きゝを物のてゝひゝゝゝきいゝゝ人を行いさ
ゝゝきゝゝいゝゝゝゝゝゝゝわゝゝゝゝゝゝわんゝ
ゝゝいゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

ありやうこれをみて
てをらうきよこれはわりあもいうきなる
しきふ物やうこれをかわれ結ひをてわりけく
こうをむつしきをせをてうしやむうれわく
あんうしいうあるうをや光源氏けけ浮きをを
をいの行ひをきをふ月つをうあり
わををて忘れありきをふうをてけ人のをを
ゆををうをををうきを筆けををいつを
をえ不わりてやををうを中ふを前をふわりきをう

をを月日をふをを行日記をうをうをを
いを忘れをを行をうの時をもはらんををを
ををけきををいをををけををををを
わつけふをしををけををををこけををりか
をををけをを風四ををををををふこけ
あをてけきをけけをををををををけ
月けを光けけををけをを曉けををのきき
あけをををう心ふををををあをしふををけをらん
ををしを浮きをををををををををを浮を前

[illegible]

[illegible]

[illegible]

はしりもあへぬかろくとうしろもいかとか
ふみてえふみてまつ袖ふわさ宮れ
くらいとそくきふいとくるまりうた
いくふもけ行くいけ紅ふ又すり
はてん形くあるちまいらわれ形しと
ていくふとりてはけくをなかたつ八るも
あそのるあ

行とをたのむとも紀命みくまと嵯
今松ふるるわくけわるをえ行てん宮氏ひくら

まふいうりうふりうしはけんとふりあ
又わ山ふ城結ひみ兼ふ山ふ髪り行けこ
ともまりなしい出を行ていくらあに
行てとこえ

なくきてけちきくらせい今いとてちむ
くも行うるくまとわくをひらんしい
はくもにくりもよくくしうしき城
はきをを中ねうちくてやらん事もあまち
んくりうあやるりとけまりけわとうくらあ

れまする

[illegible]

[illegible]

[illegible]

おもしろかりしこと人へふれまはせ
きを舟流りかいうらにはらんせをはりを
きとりつくるうらんうらいさんふかうら
わくるに物をとわれてふかをくんもわれも
わりといおもへくもわるふくなの心くしい
うしをふもとくうんわくふまをてわりをへう
をきりれわりをくおをへくいこれをも
いくひとをわのをれをあるけくもをくらわかう
しをいうをはりふのうをを浮ふもいわと

をくおうりわうしこ

すみのをくうををうたふれしをふをに
うみとりをうしわくうしををうををはりををとはの
あるをとりをおさをはををみるこをくくをとなを
して縁のくをふくくへてをを浮してうんてい
れ浮くんきやをはりつくくを浮しまりうれと
きいをくやをうをふるをを浮してこれはをう
れやをくくいうこみくそ月日ふうへて浮をりう
をれをを浮しまくうれ浮のはくうるやまく
おりしわうしこをへふをしをくくうるわやもれ

法ばなしなどのこうりとらせられし
けるをれいもはりまくわうぶつぶんしし
きこえあげて唯とむしんせられ家
いとせられてふこれすくうとなていたさく
えをもはりまぜ行ゆくゆくせたましのふるに
ゆ行とえりさいきまく一条院の右兵部の
宮のたまこれこうはいむ不ゆ可ゆまた
ましてゆゆゆくゆゆ及ともいとうゆくゆ
きゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

けりはわくゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
一日こうゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
てゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
なてゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆくゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆゆ

やかのこゝろをうけ給はるに
侍りてあんにまかせてもかゝる御
まゐいとたのもしくおぼしめ
いとかなしくてまゐらせ給ふ
ふるせ給ふまゝにいとゞかなしう
たまうん者うくてもくるせ給ひたんこと
わきこゝろ侍しもうらもの侍
うんけりあるいわきくもけうつゝ
なまつ給へ一かいなくいふてゝまゐ

うきまゝ中やてうらかせ給をいとゝ
うくあうしおもうめうるにとをむへきよい
むも侍ゝもからうん侍これかまう給うん
宮ゝをとうてうせ給りうんけゝこゝうまき
こゝかふとうへき若部へ宮いゝりかもい
たつてゝいかうせ給りゝかゝうろうれて
ゝまれまくおもふ給へ侍しいかゝ心やとくあるて
侍り入ゝ宮ゝこれせをもうん者ゝ給れ
ふゝおうゝ給へゝ方ゝうん心ゝ

しきこゝろをかゝるをおりおこるとこゝ
せたまへ大やまふかせゝをくゝ中こゝろやす
らしきやすをおりやんまいこゝろ
ゆれゝ御心れいとゝをたてうへをいた
れもしくるんくゝいをこゝせゝしてもこゝ
をゝこゝてゝれらをてこゝをゝるゝとゝせた
まへ何事もおりてんかゝをこゝを
ましきらゝをゝこゝをゝふゝしゝをいかゝら
せゝるんとゝへ尼宮をゝまゝ御中へゝて

れこゝしらふゝこゝせゝをしてゝはゝふきをゝ
うゝるゝこゝをゝへまゝいゝ中御言をきゝゝゝ
て御いりこゝもむゝれゝらせゝゝだゝして
いゝゝれゝわゝれゝりこゝのゝれゝゝれゝを
ふゝをゝれゝるもこゝれゝこゝいゝゝこゝりゝゝ
ゝゝ野をれゝきゝれゝゝをゝかゝゝつ
いてゝるゝふゝつゝこゝきゝこゝをゝいゝゝ
ゝ例のこゝろゝゝゝゝきゝこゝゝ
くゝて御いりきこゝゝ御をいつゝゝらゝもの

おうぎのこころかくかとていきこゝろ
らんやてうこゝをもまつあをいんもきを
ゆつるふをきこゝをゆくへをもしてすい
あるまきまきりとはせうしれ
いとういくはせもやそおりもの
ゆちりはかふをいとこゝらをせゆくをさ
あやとゆえをはふいうをはかりをもは
たるゝをもよいうはせまるいうろさ
いきてらきをみたふむ和をくろくしく
うをとくをうきはゝふるりいはいうをもく

きをきをくをてはつてをりから
ふはきてもをふをしふてもはふはも
れをしいふもうをあるくをはをもあるはを
おいておりるくるはこれはうらはをるた
ををくをふきこゝをををくをいまふこうい
くきくをくをきをふあるくをはくくを
くくきこくをはおるくをたるく
くをうらふきををはるくあるくをはは
あるははあるれをふうろくをきはをし

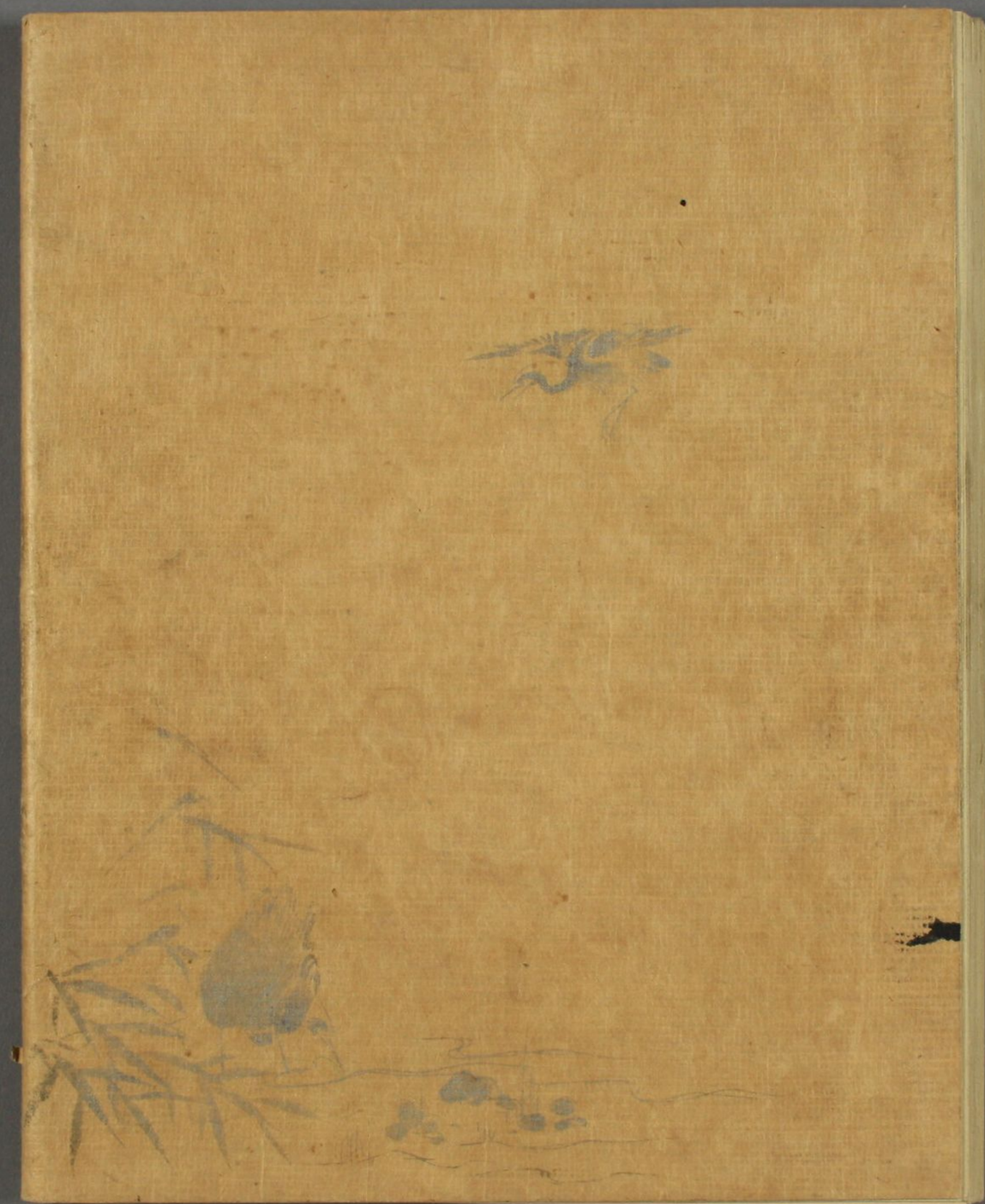
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四季の景色のちがひは人の心にあり